

### 川崎陸送

川崎陸送(樋口恵一社長、東京都港区)では、新車代替時にアイドリングストップクーラーとアイドリングストップヒーターを取り付け、燃費改善とドライバーの労働環境改善に役立っている。導入のきっかけは、同社

が参加する東京都トラック協会(浅井隆会長)の環境対策事業「グリーン・エコプロジェクト」。同プロジェクトでは、ドライバーが走行管理表に毎月の給油量と走行距離を記入するとともに、「気付き」などのコメントを書いて改善につな

## クーラー導入し省燃費

### 新車代替時 ヒーターも 労働環境を改善



居住性を重視し、大型車はハイルーフに

動でも、「省燃費」は事故防止や高速道路料金削減などと共に、テーマに挙がる。ターマに挙がる。ターマに挙がる。ターマに挙がる。

ける。

この取り組みを通じて、アイドリングが燃費に与える影響が大きいが判明。また、20年以上継続しているQC(品質管理)活

社を前にすることが必要。装置の導入で解決できることがあれば、会社として投資しようというのが当社の考えで、そのスタート

ラインから先の努力が大切」と話す。クーラーとヒーターをセ

樋口氏は「アイドリングストップ徹底などにより、2020年1月から12月までの各月の全社の平均燃費は、前年同月と比べ悪化した月ほひと月も無い。車中泊のある運行を望まないドライバーも増えているが、日帰り運行だけでは荷物は届かない。ドライバーの労働環境向上への取り組みが、これからもますます重要だ。今後は、管理者が同乗指導する際、ヒーターやクーラーの使用感について定期的にドライバーにヒアリングすることも考えていく」と話している。

薄型の室外機を取り付ける

(吉田英行)